

第60期事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

ダイトケミックス株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社事業につきまして、あたたかいご支援をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第60期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の決算では、多額の損失を計上し、株主の皆様には、多大なご心配をおかけすることになり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

現在、「構造改革プラン」の実現に向けて、邁進しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

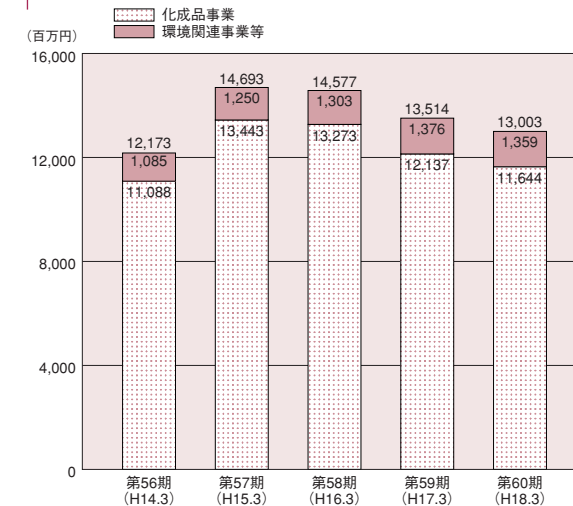


代表取締役

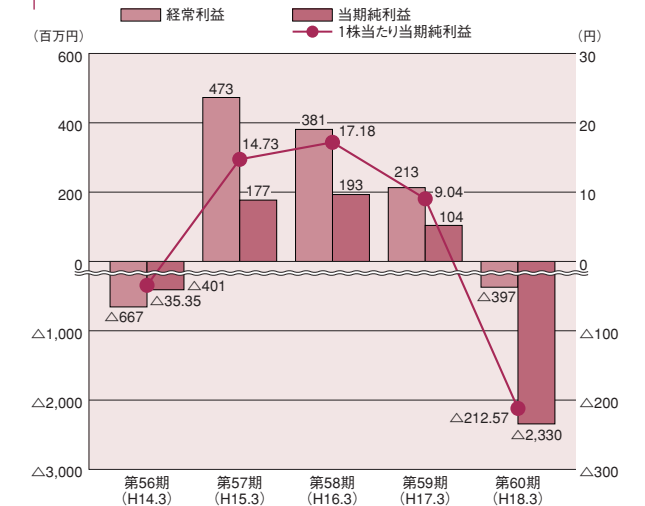
村瀬 千弘

業績の推移（連結）

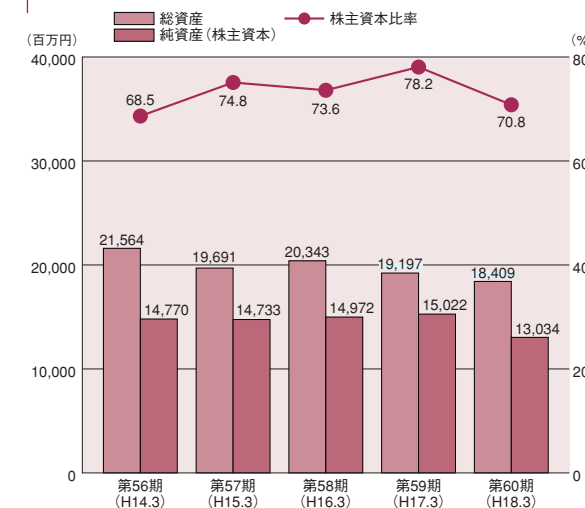
売上高



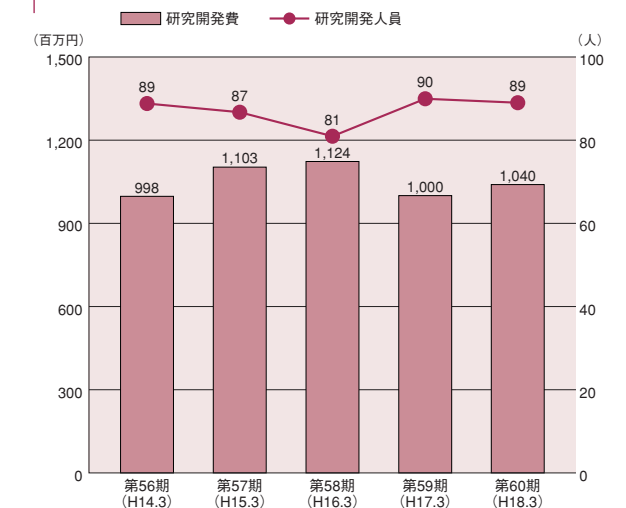
経常利益・当期純利益・1株当たり当期純利益



総資産・純資産・株主資本比率



研究開発人員・研究開発費



営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、好調な民間設備投資や雇用環境の改善と中国向け輸出の増加などに支えられ、景気に緩やかな回復の動きが見られました。

しかしながら、原油価格の高騰に伴う原材料の上昇や米国を始め世界的な金利上昇など先行き不透明感を強めております。

このような状況の中で、当社グループは、営業活動に全力をあげるとともに、次世代対応の感光性材料の開発をはじめ、写真材料、医薬中間体の新製品開発および環境関連事業に積極的に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、環境関連事業および化成品事業の写真材料が堅調であったものの、化成品事業の医薬中間体およびその他化成品が大幅減少したことにより、前連結会計年度比3.8%減の130億3百万円となりました。

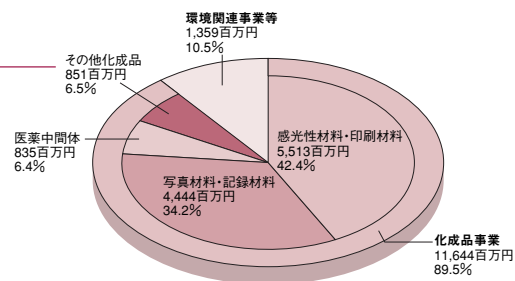
経常損失は、原料価格の値下げ、経費の削減、総労務費の削減など売上原価低減に鋭意取り組みましたが、原油高による基礎原料の値上がり、売上減少の影響を大きく受け、3億97百万円（前連結会計年度2億13百万円の利益）となりました。

当期純損失は、福井工場の減損損失13億84百万円の計上および繰延税金資産の取り崩し等を行っていません結果、23億30百万円（前連結会計年度1億4百万円の利益）となりました。

当社単独では、当期の売上高は111億29百万円、経常損失は4億63百万円、当期純損失は23億2百万円でありました。

また、事業の展開にあたっては、環境保護を基本におき、使用資源の削減、回収、再資源化にグループをあげて、積極的に取り組んでまいります。

売上高構成比(連結)



事業別セグメント

【化成品事業】

1. 感光性材料及び印刷材料

半導体用感光性材料のg線・i線用材料は、一部製品で販売数量低下があり売上が減少いたしました。エキシマ用材料は、値下がりがあったものの販売数量が僅かに増加したことにより、売上はごく僅かながら増加いたしました。

液晶用感光性材料は、デジタル家電の好調に牽引され販売数量は増加しましたが、値下がりの影響を受け売上は僅かな増加にとどまりました。

この結果、印刷材料を含む当品目の売上高は、前連結会計年度比2.5%減の55億13百万円となりました。

2. 写真材料及び記録材料

写真材料は、イメージング材料の販売数量が大幅に増加いたしました。銀塩写真用材料では、デジタルカメラやカメラ付き携帯電話の普及の影響で、インスタント写真用材料が大幅に減少しましたが、カラーフィルムおよびカラー印画紙用材料は、僅かながら販売数量、売上ともに増加いたしました。

記録材料は、デジタル写真のプリント用材料の販売価格が低下したことにより、売上は大幅に減少いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前連結会計年度比3.2%増の44億44百万円となりました。

3. 医薬中間体

医薬中間体は、主力製品で一段落していた在庫調整が再び行われたこと、また、ユーザーでの需要が減少したことにより販売数量が減少したことの影響を受け売上が大きく減少いたしました。なお、将来の新製品の柱になる試作品は、計画以上の成果をあげました。

この結果、当品目の売上高は、前連結会計年度比24.4%減の8億35百万円となりました。

4. その他化成品

架橋剤は、繊維改質材の用途拡大を図ってまいりましたが、市場の急速な縮小により、販売数量、売上ともに大幅に減少いたしました。

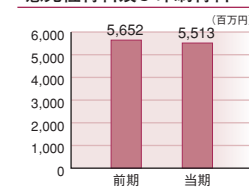
この結果、当品目の売上高は、前連結会計年度比20.8%減の8億51百万円となりました。

【環境関連事業】

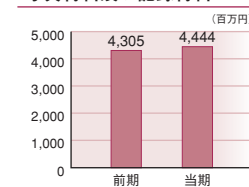
産業廃棄物の処理および化学品のリサイクルを中心とする環境関連事業では、産業廃棄物処理分野におきましては、大口得意先での廃液の自社処理化に伴う受託量の減少がありました。液晶関連廃液の増加、大口のスポット受託などがあり、売上は僅かながら増加いたしました。化学品リサイクル分野におきましては、積極的な営業活動により新規受託先の拡大に努めましたが、特定の大口得意先での稼働率の大幅低下および工程改善による溶剤使用量削減の影響を受け、売上は減少いたしました。

この結果、当事業の売上高は、前連結会計年度比1.3%減の13億54百万円となりました。

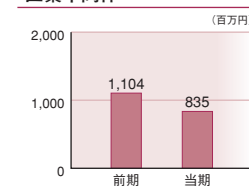
感光性材料及び印刷材料



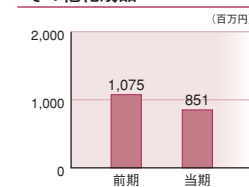
写真材料及び記録材料



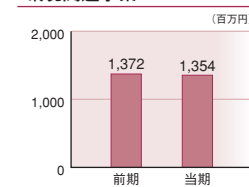
医薬中間体



その他化成品



環境関連事業



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
(資産の部)		(18,409)	(19,197)
流動資産		8,993	8,527
1 現金及び預金		2,210	1,243
受取手形及び売掛金		2,983	3,121
2 たな卸資産		3,183	3,741
その他		618	424
貸倒引当金		△ 2	△ 2
固定資産		9,416	10,670
3 有形固定資産		7,255	8,955
建物及び構築物		2,274	3,188
機械装置及び運搬具		2,165	2,841
土地		2,350	2,591
その他		465	333
無形固定資産		7	50
4 投資その他の資産		2,153	1,664
資産合計		18,409	19,197

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT - 1

現金及び預金
借入金の借入増等により増加いたしました。

POINT - 2

たな卸資産
不良・不要在庫の徹底処理により減少いたしました。

POINT - 3

有形固定資産
福井工場について減損処理を行いました。

POINT - 4

投資その他の資産
投資有価証券の時価評価が株価の値上がりにより上昇いたしました。

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
(負債の部)		(5,320)	(4,175)
流動負債		3,046	2,955
支払手形及び買掛金		700	736
短期借入金		1,253	1,329
賞与引当金		277	311
その他		815	578
固定負債		2,273	1,219
長期借入金		1,556	980
5			
その他		716	239
少数株主持分		55	—
(資本の部)		(13,034)	(15,022)
資本金		2,901	2,901
資本剰余金		4,421	4,421
6			
利益剰余金		5,765	8,166
その他有価証券評価差額金		533	193
為替換算調整勘定		74	—
自己株式		△ 661	△ 659
負債、少数株主持分・資本合計		18,409	19,197

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT - 5

長期借入金
設備投資に備え、長期借入金の借入を増額いたしました。

POINT - 6

利益剰余金
当期純損失額の影響により減少しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(経常損益の部)			
営業損益の部			
売上原価		13,003	13,514
1 売上原価		11,771	11,662
売上総利益		1,231	1,851
販売費及び一般管理費		1,549	1,574
営業利益(△損失)		△ 317	277
営業外損益の部			
営業外収益		41	44
営業外費用		120	109
経常利益(△損失)		△ 397	213
(特別損益の部)			
特別利益		3	32
2 特別損失		1,568	20
税金等調整前当期純利益(△純損失)		△ 1,962	225
法人税、住民税及び事業税		58	102
法人税等調整額		312	18
少数株主損失		2	—
当期純利益(△純損失)		△ 2,330	104

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT - 1

売上原価

原料費高および不良在庫の処理により増加いたしました。

POINT - 2

特別損失

福井工場について減損処理を行いました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		904	353
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 332	△ 1,298
財務活動によるキャッシュ・フロー		432	△ 745
現金及び現金同等物に係る換算差額		11	△ 0
現金及び現金同等物の増加額		1,016	△ 1,688
現金及び現金同等物の期首残高		1,243	2,932
現金及び現金同等物の期末残高		2,260	1,243

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT - 1

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失となったものの、減損損失の計上、たな卸資産および売上債権の減少に伴い、収入が増加いたしました。

POINT - 2

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期および長期借入金の借入により増加いたしました。

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高		4,421	4,421
II 資本剰余金期末残高		4,421	4,421
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高		8,166	8,129
II 利益剰余金増加高		—	104
1. 当期純利益		—	104
III 利益剰余金減少高		2,330	—
1. 当期純損失		2,330	—
2. 配当金		65	65
3. 役員賞与		4	1
4. 自己株式処分差損		—	0
IV 利益剰余金期末残高		5,765	8,166

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
(資産の部)		(17,364)	(18,184)
流動資産		8,218	7,867
現金及び預金		1,902	1,015
売掛金		2,614	2,766
有価証券		100	—
たな卸資産		3,080	3,657
繰延税金資産		294	252
その他		227	175
固定資産		9,146	10,317
有形固定資産		6,705	8,502
建物		1,726	2,439
機械及び装置		1,902	2,687
土地		2,194	2,425
建設仮勘定		261	119
その他		618	829
無形固定資産		5	48
投資その他の資産		2,435	1,766
資産合計		17,364	18,184

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
(負債の部)		(5,130)	(3,922)
流動負債		2,948	2,830
買掛金		639	659
短期借入金		1,253	1,299
未払金		498	295
賞与引当金		209	240
その他		348	335
固定負債		2,181	1,091
長期借入金		1,556	980
その他		624	111
(資本の部)		(12,233)	(14,262)
資本金		2,901	2,901
資本剰余金		4,421	4,421
利益剰余金		5,039	7,407
その他有価証券評価差額金		533	192
自己株式		△ 661	△ 659
負債及び資本合計		17,364	18,184

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
(経常損益の部)			
営業損益の部			
売上高		11,129	11,608
売上原価		10,414	10,345
売上総利益		714	1,263
販売費及び一般管理費		1,231	1,258
営業利益(△損失)		△ 516	4
営業外損益の部			
営業外収益		156	150
営業外費用		102	124
経常利益(△損失)		△ 463	29
(特別損益の部)			
特別利益		1	32
特別損失		1,550	19
税引前当期純利益(△純損失)		△ 2,012	42
法人税、住民税及び事業税		18	14
法人税等調整額		272	17
当期純利益(△純損失)		△ 2,302	10
前期繰越利益		261	316
自己株式処分差損		—	0
中間配当額		32	32
当期末処分利益(△未処理損失)		△ 2,074	294

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：円)

科目	期別	60期(当期)	59期
当期末処分利益(△未処理損失)		△2,074,276,634	294,448,301
別途積立金取崩額		2,500,000,000	
合計		425,723,366	294,448,301
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金 (普通配当 1株につき3円)		32,921,793	32,930,607 (普通配当1株につき3円)
次期繰越利益		392,801,573	261,517,694

(注) 平成17年12月12日に32,927,634円(1株につき3円)の中間配当を実施いたしました。

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

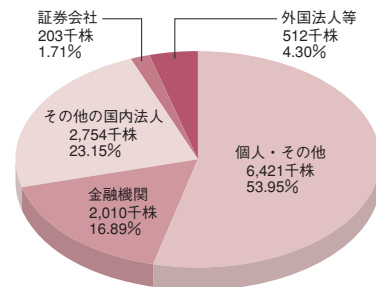
株式の総数・株主数

会社が発行する株式の総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,900,000株
株主数	1,048名

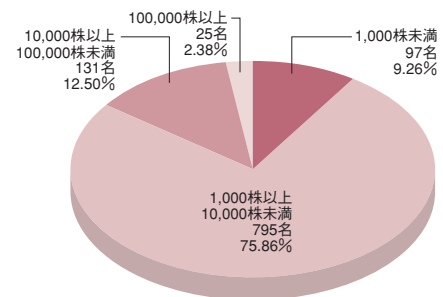
大株主

株主名	所有株式数	出資比率
東京応化工業株式会社	522千株	4.38%
ダイトケミックス社員持株会	511	4.30
住友商事株式会社	503	4.22
日本生命保険相互会社	499	4.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	482	4.05
竹中一雄	475	3.99
富士写真フイルム株式会社	439	3.69
エスアイエス セガ インターセトル エージ	295	2.47
株式会社三井住友銀行	271	2.27
農林中央金庫	247	2.07

所有者別株式分布状況



所有株数別株主分布状況



グループ会社製品紹介

ダイトー技研株式会社

住 所：〒579-8003
大阪府東大阪市日下町4-2-21
(問い合わせ先)
T E L：072-981-9665
e-mail：s_karitsuka@daitogiken.jp
U R L：http://www.daitogiken.jp

当社の主要製品は、防水材（アスファルト・ゴム・塩ビシート、ウレタン等）の上に塗布して防水層を保護し長持ちさせるために使用する水性塗料です。マンションや個人宅の屋根・屋上・ベランダで多く使用されています。

製品ブランド名は、「**ダイトップ**」と言います。その他に、遮熱塗料「**ダイクール**」、配管等の腐食を防止する防食テープも製造・販売しています。

ダイトップは水性ですので、人や地球環境にやさしい塗料です。塗装中の臭気もほとんど無く、ローラーや刷毛で比較的簡単に塗装でき、使用器具も水洗いで容易に清掃できます。ダイトップは製造・販売を開始して以来、全国の防水・塗装業者等に28年の永きに亘ってご愛顧いただいております。



会社の概況 (平成18年6月23日現在)

概要

商号 **ダイトケミックス株式会社**
(英文名：Daito Chemix Corporation)

本社所在地 **大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号**
電話06(6911)9310(代表)

設立 **昭和24年12月2日**

資本金 **2,901,163,150円**

社員数 **266名**

主な営業品目 **感光性材料、写真材料、医薬中間体、印刷材料、記録材料、その他化成産品**

役員

<取締役>

代表取締役	村瀬千弘
取締役	入岡修一
取締役	二宮榮規
取締役	新木隆雄

<監査役>

常勤監査役	山中俊彦
監査役	越智賢三
監査役	桑原豊

<執行役員>

社長	村瀬千弘
執行役員	入岡修一
執行役員	二宮榮規
執行役員	新木隆雄
執行役員	安田稔
執行役員	小宮希士
執行役員	佐藤敏夫

事業所

東京オフィス **東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号**
電話03(3669)0261

大阪工場 **大阪府大東市諸福八丁目3番11号**
電話06(6911)1271

静岡工場 **静岡県掛川市浜野3110**
電話0537(72)2888

福井工場 **福井県福井市石橋町31字118**
電話0776(85)1841

グループ会社

日本エコロジー株式会社

大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話06(6911)1279
(産業廃棄物の処理および再生事業)

ディー・エス・エス株式会社

大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話06(6911)1559
(物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負)

ダイトケミ研株式会社

大阪府東大阪市日下町四丁目2番21号
電話072(981)9665
(建築用材料の製造販売)

岩手ケミカル株式会社

岩手県上閉伊郡大槌町須賀町2番2号
電話0193(42)7221
(感光性材料用原料、食品添加物、その他化成産品の製造販売)

台州联大科技有限公司

中国浙江省台州市黄岩区黄岩経済開発区軽化投資区永椒路
(感光性材料用原料、その他化成産品の製造販売)

DAITO-KISCO株式会社

韓国仁川広域市西区石南洞223-48
(感光性材料の製造販売)

生産拠点



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 当社は、電子公告制度を導入いたしました。今後の当社の公告につきましては、当社のホームページアドレス <http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm> に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

インターネットホームページアドレス <http://www.daitochemix.co.jp>

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所 市場第2部

証券コード 4366